

技術支援基礎講座 —JIS、法文書など公文書の書き方— 【WEB 中継】開催のご案内

公益社団法人日本技術士会技術士活性化委員会では、平成 27 年 11 月 16 日(月)に標記基礎講座を開催し、全国の希望する地域本部へWEB中継する運びとなりました。

北海道本部では、以下の要領にてWEB中継を開催いたしますので、奮ってのご参加をお待ちしています。ただし、システム機器や通信環境の状況によっては、映像や音声が一時的に中断したり、乱れることがありますので予めご了承ください。

なお、お申込者が5名未満の場合、WEB中継は開催を中止させていただきますこと予めご承知置きください。

◆開催日時：平成27年11月16日(月) 13:00~17:30

◆テーマ：JIS、法文書など公文書の書き方 —複数人執筆の基準—

講師：若鳥 陸夫 氏(技術士[電気電子])、元 JISC 情報部会規格調整臨時委員

※プログラム概要は次頁をご覧ください。

◆開催会場：Docon 新札幌ビル 3階 D, Eルーム

住所 北海道札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4番1号

(http://www.docon.jp/company/sub/place_honsya.html)

【地下鉄東西線】新さっぽろ駅4番出口から 徒歩1分

【JR千歳線】新札幌駅から 徒歩3分

開催当日連絡先：日本技術士会 北海道本部 長井 智典

TEL：011-801-1590(株)ドーコン技術情報部

◆参加費：無料(定員30名、先着順)

◆お申込み：下記の内容を記載のうえ、EメールまたはFAXにてお申込みください。

○申込み内容

- ・技術支援基礎講座WEB中継出席
- ・氏名
- ・所属
- ・Eメールアドレス
- ・電話、FAX
- ・技術士又は技術士補の方：(会員/準会員/会友/非会員)、技術士・技術士補以外

○申し込み先：日本技術士会 北海道本部 事務局(桑島、長谷川)

札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4-1 Docon 新札幌ビル

TEL：011-801-1617 FAX：011-801-1618

E-mail：hkd-eng@ipej-hokkaido.jp

◆申込み締切：平成27年11月9日(月)



平成 27 年 10 月 15 日

公益社団法人 日本技術士会
地域本部長各位

公益社団法人日本技術士会 技術士活性化委員会

技術支援基礎講座 ―JIS, 法文書など公文書の書き方―のご案内

官庁、自治体、裁判所などへの提出文書に大幅な修正依頼を受けられたことはありませんか？複数人で一つの文書を仕上げようとすると、漢字の送り仮名、用語が揺らいで編集に多大な時間を浪費しなければならない事態に遭遇されていませんか？技術士の文書は、ともすると、他部門の技術士では読めない記述になり、同業他社の同じ部門技術士でも読めない事象が生じることがあります。

しかも、報告書・鑑定書などの想定読者は、官庁・自治体の職員、裁判官、保険会社の社員など千差万別です。

この基礎講座は、せめて JIS が読める約束を習得し、日頃から制約日本語の書き方を使用しておき、要望に応えられる方向・注意点を指摘します。

開催要領

1. 日時：平成 27 年 11 月 16 日（月）13:00～17:30
2. 場所：日本技術士会 葺手第二ビル 5 階会議室及び各地域本部事務局
3. テーマ：JIS, 法文書など公文書の書き方 ―複数人執筆の基準―
4. 講師：若鳥陸夫，技術士（電気電子），元 JISC 情報部会規格調整臨時委員
5. プログラム概要：（変更する可能性あり）
 - 1) 制約日本語（書くには窮屈だが、義務教育修了者であれば読める文書）を目指す
 - 2) 省庁（法務省を含む）の統一文書の基準
 - 3) 複数人で一つの文書を作成する場合の揺れ防止の基準
 - 4) 文化庁の常用漢字の適用（常用漢字であれば必ず漢字で表す。送り仮名）
 - 5) 動詞への片仮名語の排斥。名詞も従来からある日本語を使う。
 - 6) 限定した接続詞・記号とそれら相互の優先順位（及び、又は、若しくは、並びに）
 - 7) 句読点の統一（横書き文書の読点はカンマ（社会、算数、理科などの教科書にならう）
 - 8) 項番号，見出し，図表番号，図表見出しなど参照される対象を太字修飾

参考文献：JIS Z 8301-2008 の附属書 G（規定）及び JIS Z 8301-2011 追補 1，文章の書き方，用字，用語，記述記号及び数字。

文化庁編：常用漢字表 以上